



発行責任者 齋藤隆靖 編集責任者 滝沢寿隆

2023年6月15日号

平和 働き、生活できる 人権 労働条件を獲得しよう 環境

ホームページ



メール

<http://unionpeace.main.jp/>info@unionpeace.main.jp

ユニオンネット平和センター（略称：ユニオン平和）

〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2-15-9 武蔵野ビル 2F 労働相談室気付

TEL 070-6576-2071

FAX 03-5577-7263

とんでもない事がおきた！右翼の襲撃者で大怪我！

6月4日、練馬自衛隊・駐屯地撤去を求める集会、市民デモに対し、右翼5名が襲撃し、仲間1名が左足骨折という事態が引き起こされた。救急車で病院に運ばれ、緊急の手術もされたが、全治1か月以上の重傷となった。6・4集会は呼びかけ、反安保・反自衛隊・反基地を闘う東京北部実行委員会と有事立法・治安弾圧を許すな！北部集会実行委員会、協力池袋アクションで取り組まれ、40名余の仲間が結集した。この練馬駐屯地撤去闘争は、かつて60年6月15日反安保闘争、70年代初頭反戦・反安保闘争の高揚を受け、地域から反戦・反基地闘争をつくろうという事でお発した。かつて、東京水道労組青年部・争議団・東京清掃労組・武蔵大学全学自治会ほかで実行委員会を結成し闘い抜いてきた。現在も争議団、反戦市民団体に受け継がれている。1970年以来50年間、毎年6月に市民デモとして闘い続けられてきたものです。

練馬駐屯地内に第一師団司令部を置き、首都戒厳一治安出動を担い、労働運動・市民運動を弾圧する司令部です。故に反戦・反基地に敵対するものとして闘ってきました。集会は板橋区徳丸第2公園に結集し、2時に集会を始めようとしたところ、右翼は宣伝カーに対して「駐車禁止だ。」などと言いがかりつけ、さらに、車を移動するのにも妨害する。一方、公園に入口の横のフェンス横側から、汚いヤジを飛ばし、仕切りに挑発をし、乱入しようとする。入口にいる2人に右翼は警官に囲まれながらも、警官が手薄になったところ右翼（女）公園内に突進してきた。仲間は身構えることなく、跳ね飛ばされ、右翼の下敷きとなり、左足骨折となった。救急車の手配がされ、現場いる警察官に繰り返し抗議のシュプレヒコールを浴びせた。

集会は、途中で終わりにし、予定時間も過ぎ40分以上も遅れたがデモを出発した。シュプレで「妨害者はただちに帰れ！」「反戦集会への介入・妨害はヤメロ！」を続けた。自衛隊への申し入れ書手交、デモは最後までやりきった。練馬区の解散地で5団体から連帯発言をうけた。1、横田基地基地反対運動を闘っている大森さん（東京全労協議長）2、戦争・治安・改憲No！の石橋さんから3、立川自衛隊監視テント村の大西さん3・グループ池袋アクションから5。北部共闘（武蔵野学園）。後日の実行委員会で、当面緊急カンパの要請を確認し、ケガを負われた本人を交えて今後について相談する事を確認した。

今回の「事件」はローカルな地域でも右翼は情報を集め、「反戦・反基地・反安保」など集会破壊を暴力的に行う。現在のウクライナ戦争、岸田政権の軍拡・改憲を背景に、市民運動にも妨害を右翼は始めている。私達、北部集会実行委員会は右翼の集会暴力・破壊を許さず反撃の構えと態勢の強化を進める。警視庁公安部と高島平署の反戦・反基地集会への妨害・介入（集会時間の遅れ、襲撃者の野放しなど）に対して断固抗議する。 記：芝崎眞吾

平和・人権・環境



5.17 JAL不当解雇国交省に請願

国交省の不当な対応に対して、JHUは5月18日に国交省通用門前に支援者ら10人で、仕切り直しの請願要請の申し入れをした。

これに先立ち、JHUはJAL不当解雇争議の早期解決を目指して、国交省に請願を申し入れたが、国交省は「直接会うことは控えたい」と拒否。その後、申し入れるも、「直接は会いません！」と電話は乱暴に切られるという不当な対をしてきた。

こうした対応への抗議と申し入れであるが、



国交省前

国交省はこの事件を「1企業の問題」として門前払いを繰り返してきた。最高裁が判決を確定した「不当労働行為」こそ国交省が深く関与したもので言い逃れはできない。

ところがここでも書類も受け取らず門前払いをしてきた。山崎書記長「国交省は、提出された請願、中身についても正確に受領したが、今日の請願は、直接対応するのは控えたい。理由は1企業だからの回答であった。本当に読んだのか？読みました。のやりとり後、本日は引き上げるが、私たちは何度でも早期解決のために正当な申し入れを続けます。頑張りましょう」と経過報告を受け、行動を終えた。



国交省前

5.19 第90回「19日行動」

第90回「19日行動」が5月19日、国会議員会館前行動(署名提出行動)として行われた。

安保3文書撤回! 軍拡増税反対! 南西諸島のミサイル配備反対! 改憲発議反対! 暮らしをまもれ! をスローガンに、あいにくの雨模様になってしまったが、「広島G7」が真の核廃絶の扉を開くものにすべきだ。入管法の改悪は殺人に等しい犯罪法になり、やるべきでないの声



が国会を取り巻いた。参加者は1100名を超え、会場は雨に負けず熱気に包まれた。

発言は、主催者挨拶(高田健9条壊すな実行委員会)で、「岸田政権が暴走しています。昨年国会閉会後に安保三文書を閣議決定、今国会でも次々に悪法案強行してくる。今、被



集会での訴え

爆地の広島でG7が行われている。直ちに撤退と停戦を求めます。皆さん頑張りましょう。」と力強く訴えられた。



福島議員

続いて、国会議員からは、福島みずほ参院議員(社民党)、山下芳生参院議員(共産党)、大河原まさこ衆院議員(立憲民主)、沖縄の風(伊波洋一参院議員)が発言され、市民運動の方々からは4人の代表から発言していただいた。

発言は、安保3文書、G7広島サミットと核兵器禁止条約を批准、岸田政権の傍若無人といえる軍拡路線にも反対する訴えがされ、怒りの声があげられた。

5.23 新しい戦前にさせない 第3回シンポジウム

「新しい戦前にさせない」第3回シンポジウムが、5月23日午後、衆議院第1議員会館で開かれ、会場を満席(300人)にした。

メイン討論だった「統一教会と自民党が呼び込む戦争」は、佐高信、有田芳生、平野貞夫、前川喜平各氏が大いに語った。自民党は長く統一教会と癒着を続けてきた。「統一教会と無縁だ」と繰り返す議員ほど癒着をしている。統一教会の思想が教育勅語を蘇らせた。萩生

田光一など議員会館に教育勅語を飾っていた。自民党と統一教会の深い癒着は、下村博文、萩生田光一らの新興勢力が中心に急発展した。統一教会の子ども教育は、親が絶対の存在。考えさせない教育、権威に従順な考え方。青少年は言いなりに従う事を健全と言わせる。統一協会の解散はあるのか？前川さんに尋ねた。「自民党の下で解散命令はない」キッパリ答えた。深い癒着があるからだ。悪徳を記憶から薄れさせてはいけない。佐高信さんは吠えた。「選挙を闘わないことが恥なんだ」肝に銘じることだ。有田さんが総選挙でも闘うという。前川さんも当然に闘ってほしい？会場に歓声が起こった。



前川喜平さん



議員会館大会議室



5.26 日通雇止め事件 最高裁への上告不受理

日本通運の最高裁への上告受理申立、「不受理」決定に対する声明 5月26日に、海渡弁護士よりメールが届いた。内容は、最高裁での日本通運の「労働契約法18条無期転換逃れ地位確認」上告受理申立の不受理決定という内容であった。所謂、調査官が門前払いにしたことだ。審理することがないということで、ふざけるな！という気持ちでいっぱいである。

裁判所は誰のためにあるのか、そして不十分な法律であっても誰のためにあるのか多くの疑問が残る決定だと思う。私たちは、多くの皆様に物心両面からのご支援をいただき、今日まで本人と闘ってまいりましたが、本当に悔しい気持ちとなんで、このような結論に至るのか不思議ならない。また共に、闘ってきた川崎地域のIさんも同じ決定が出された。今年3月末に、多くの理化学研究所・大学の非常勤講師などが10年雇い止め解雇ということで、首を切られてきている。司法からの訴えても、無駄だよと言っているような気がする。最後に、本人の気持ちを紹介。「大変残念で、これまでに全員一丸となって死力を尽くし闘ってきた結果がこれだと思うと、やりきれない気持ちでいっぱいですが、5年半も闘って来られたのは皆様の心添えがあったからこそだと、大変感謝しております。」



最高裁前

今後については、弁護団会議の後を受けて、労働組合としてもきちんと総括し、次の闘いへの教訓としていきたいと考えている。今までの物心両面のご支援を賜り感謝している。



6.3千葉県最賃キャラバン行動

6月3日、千葉県最賃キャラバンは、なのはなユニオン・ユニオン市原・I女性会議・反失業千葉県共闘会議・市原地区労・千葉スクラムユニオン・東葛ふれあいユニオン・松戸労組会議・習志野地区労・木更津地区労・郵政ユニオン千葉・N関労千葉支部・国労千葉地本・ユニオン習志野・京葉ユニオン・日音協の計16団体で実行委員会を作り、毎年、最賃審議会が開催される前に県内主要7駅頭でリレートークとチラシ配布等キャラバン方式で行っている



訴える鳩川さん

JR柏駅前からスタート、千葉駅まで県内7駅で取り組まれた。千葉県の地域最低賃金は984円、25年間続く実質賃金の目減りとインフレ物価高で、誰もが生活に困窮している。まして、時給で働く非正規雇用労働者の



柏駅東口



松戸駅東口

生活は限界に達している。千葉県最賃キャラバンは、今すぐ全国一律1500円の要求を掲げ行動した。

沖縄 新基地反対署名56万筆 国会議員に提出

去る6月6日、辺野古新基地建設への抗議行動が続く本部町の塩川港で、沖縄防衛局の職員が、抗議する市民に対し「間違い行動」「間違いでしょ」などと差別発言を繰り返した。「明確な差別発言であり、ヘイトスピーチに他ならない」と強く批判。許せない！

米軍普天間飛行場移設に伴う名護市辺野古の新基地建設に反対する「辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議」は13日、国会内で、新基地断念を求める請願の国会提出に向けた集会を開いた。全国から集めた55万9224筆分の署名を野党国会議員に託した。受け取った議員約30人が14日までに衆参両院へ提出する。 ※署名は現在保留状態です。



署名用紙



国会議員に提出

ユニオン平和に参加しましょう

ユニオン平和は、フォーラム平和・人権・環境に加盟しているユニオンの集合体です。平和・人権・環境に係わる諸課題の理論・情報・行動を発信していきます。

加入は、団体、サポーター会員として、個人単位での加入もお願いしています。

是非ご参加ください。

会費一年会費

団体：一口 1000円

個人：一口 1000円

※団体個人とも、可能な方は複数口お願いします。

※サポーター会員証を発行しています

平和・人権・環境

